

霜に打たれた柿の味

栃木県

原田 はらだ

孝之 たかゆき



当時20歳代の私は、父の経営する食品製造卸会社の工場長でした。売り上げ至上主義の私は、暴言、暴力までふるっていたため、社員さんは次々に去り、父とも衝突しました。飲み仲間は多いのに、会社では一人ぼっち…日々の

ら立ち、悩んでいました。

2004年30歳のとき、先輩経営者に「たかゆきちちゃん！掃除に來い」と誘われました。嫌々朝3時に起きて行きました。素手でのトイレ掃除と聞いて、逃げたい気持ちで一杯でした。

塚越康一リーダーに「嫌なことから逃げていませんか」と問われ、ハツとしました。そこで、社員とコミュニケーションも謝罪もせず、問題から逃げていた自分に氣付きました。そこで、思い切って手便器に突っ込みました。その瞬間、「これを一生続けてみよう」という気になりました。

2009年、鍵山相談役とお会いし、著書に「霜に打たれた柿の味 辛苦に耐えた人の味」のサインをいただきました。このお言葉に、「私

も相談役のようにになりたい」「辛苦に耐え、味のある人格を身に付けたい」と感じました。そして現在でも掃除に勤しんでおります。

私は38歳で社長に指名され、少人数の会社ですが、今は皆さんと仲良くやっております。障がい者施設も立ち上げることができました。相談役のあの言葉がなければ、そして掃除を続けていなければ、成し得なかったことです。2017年、栃木掃除に学ぶ会の代表世話人のお役目もいただきました。

掃除に出会い、心の強さが増した氣がします。これからも掃除を通して、社会の荒み、人の心の荒みをなくしていけるよう、励んでまいります。

(329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木2061)

今日も足もとのゴミを 拾い続けます

長崎県

梅元

建治



コロナ感染症が収束しないなか、地域でゴミ袋とゴミ箸を持って「一人ゴミ拾い」をしています。そして振り返ります。足元のことに気づけているのか？ 丁寧に実践できているのか？ 自分の信念はしっかりと踏ん張って

いるのかと。

2001年夏、元岡健二様のお導きで「長崎掃除に学ぶ会」主催の県大会に初めて参加しました。当時長崎県では、年に1度、長崎、佐世保、松浦の会が合同で、県大会を開催していました。

私は長崎の会に入りました。毎月1回約50人で、丸山公園、湊公園の早朝トイレ掃除をおこなっていました。

ある日、リーダー（佐世保の曾木さん）が終始笑顔で、「上手だね」。トイレ磨きどこかで練習してきたでしょ？」などと冗談交じりで、不慣れで多少顔がひきつっている私を褒めるのです。誉め殺しならぬ褒め導きで、私を掃除の会の深みへ導いてくださいました。

終了後の体験発表で、私は思わ

ず「この取り組みは、イベントで終わらせてはいけない、未長く取り組めます」と、参加者の前で宣言してしまいました。

鍵山相談役から教えていただいた言葉です。「足もとの紙くず一つ拾えぬ程度の人間に、何が出来よう」（森信三）。

相談役や多くの先輩方とご縁をいただいて、人生だけでなく、零細企業の経営への向き合い方やぶれないスタンスが見つかったように思います。

「自分にできることを地道に実践し続けること」が、自分と次の世代の明るい未来をつくることにつながると思っていて、今日も足もとのゴミを拾い続けます。

（850 0911長崎県長崎市東山手町8-18）

凡事徹底

私を変えた出逢い

新潟県

村山 むらやま

廣祐 こうすけ (政文 まさふみ)



「すごい社長に逢わせるから来なさい」坂田道信先生のお導きで、1991年11月23日岐阜県恵那郡蛭川村の「恵那ハガキ祭り」で、初めて鍵山相談役にお逢いしました。強度の眼鏡に笑顔を絶やさない話しぶりと、ピシッと背筋を伸ばした姿勢に驚き、感服しました。

終了後、坂田先生ご夫妻他数名で田中義人元会長宅に伺い、深夜まで相談役のお話を拝聴したときの様子は今も鮮明に覚えています。

話が「トイレ掃除」に及んだところ、メガネを外されて傍らのメモ用紙に「凡事徹底」はじめ数々の片言隻句を一字一句実に丁寧に書かれました。以来30年相談役の聲咳に接して来て、「凡事徹底」「良樹細根」こそ、相談役の目指される掃除道根幹の理念と姿勢を示す金言だと肝に銘じております。

その後、東広島での断食セミナーにも数回ご一緒させてもらいました。相談役に伺った経営や「なぜトイレ掃除なのか？」のお話が勉強になり、「掃除に学ぶ」決

心をしました。帰りの新幹線で「世の中から荒みをなくしたい」という「心願」をうかがって、「それぞれが各地で広めよう！」との田中さんの呼びかけがあったと思います。

「10年偉大なり、20年畏るべし、30年歴史なる」

道縁の末端の一人として感慨深く、皆様に感謝申し上げます。

最後にエピソードを。あるとき相談役に「掃除の会に参加する度にお金を拾います」と話しましたら、笑顔で一言「よかったですね、ただし村山さんが拾うのは小銭ばかり」。効きました。

鍵山相談役の米寿をお祝いし、掃除活動に精進いたします。

(948 0031新潟県十日町市山本町1-71-2

株)村山土建)

はじめの一步

愛知県

小川 おがわ

隆二 りゅうじ



「何かを始める」って勇氣要りますよね。55歳の私も、長年新しいことにチャレンジできませんでしたが、あることをきっかけに心のハードルが下がったんです！

【きっかけは御美拾い】 2019

年、フェイスブックグループで「1つ良いこととして投稿しよう！」と宿題が出たんです。そこで私は朝の散歩で御美拾いの自撮り投稿をしたら、皆が「いいね！をくれた上に、「俺も始めたよ！」って連鎖したんです。私は「あれれっ！ちょっとびり世界を変えちゃった？」と嬉しくなりました。10〜30代の若者だったので、それまでの「今の若い者は…」っていう思いが吹き飛び、「行動力すげー！若い子から学べるんだ！」と思えるようになったんです。

【素敵な人に近づけた】その後仲間から、「その経営者の方は、毎週人知れず街を奇麗にしてくれているんだ！ その人がいるからこのセミナーに入った」と聞き

ました。「素敵な方やなあ！ そんな人から学びたい！」と、私もそのセミナーに入り、一緒に街の草刈りや御美拾いをさせてもらうようになったんです。

【さらなる広がり】社内教育の講師の仲間から、「一緒にやらせて」と連絡があり、彼は当日20人近くの若手を連れて参加してくれました。若手社員にまでこの活動のことが伝わり、来てくれたことに感謝・感激！ 心が満たされた瞬間でした。

御美拾いを始めてスイッチが入ったらしく、社内の有志の会、外の学びの場などに積極的に参加するようになっていたんです（笑） これからも、楽しく街の草刈り、御美拾いに出かけます♪

(471-0855愛知県豊田市柿本町5-14-2)

5万世帯・12万人が変わった

広島眞

山口

富久



2000年ころ、広島市では暴走族が暴れまくっていた。東区の広島市立二葉中学校が県内一荒れていた。暴走族のメンバーが多く、運動会、卒業式、入学式もできない。授業もできない。

広島県警東署から、トイレ掃除で学校の非行化を断つことの

提案があった。広島県立安西高校が、トイレ掃除で劇的に立ち直った例を知っていた。抵抗勢力は先生方だった。PTAの強い後押しがあり、とにかく3回は取り組むことにした。

2003年3月、6月、8月、翌年4月とたて続きに行った。劇的に良くなった。この二葉中の健全化は、マスコミにも注目された。

29年ぶりに運動会を行うことができた。二葉中の生徒が、母校中山小学校のトイレ掃除を、企画実行した。学校周辺の掃除も続け、地域の人の生徒を見る目も変わってきた。

町内会長から「生徒を表彰してやっつて」との提案が出、県知事表彰などを受け、県内中学校のモデル校となった。今も素晴らしい

中学校である。

東区の方針として、区内12の小学校、6つの中学校すべてでトイレ掃除を行った。すると、思いがけない効果が出てきた。

5万世帯12万人の雰囲気は劇的に良くなったのだ。東区民が、親切、助け合い、ボランティア活動を積極的に行うようになった。

トイレ掃除は、人類の人間性・人格を向上させるといふ実例を東区で見、そしてトイレ掃除は人類の幸せと世界平和の実現に貢献するということを知った。

今の私の一番の楽しみは、孫たちとトイレ掃除やゴミ拾いをすることである。孫たちは、喜んで参加している。これ以上の教育はありません。（元広島市東区長）

(739) 広島県広島市安佐北区真亀3-21-4

私の掃除の原点

東京都

渡辺 わたなべ

栄司 えいじ



1998年、掃除に学ぶ会にご縁をいただき、自分にはこの掃除の道が一番合うと感じています。

初めて担当した小便器の汚れはひどく、ひたすらサンドメッシュで擦りました。結局きれいにできず、「擦らなくても簡単に汚れが落ち

る洗剤を、なぜ使わないのか」と疑問をもちつつ、疲労感だけが残りました。「こんなものか」と斜に構える自分がいたのです。

それから日が経ち、違う思いに変まりました。掃除の会に参加する前から、自社のトイレを掃除していたのですが、黒ずみが取れないままでした。そういえば、会ではサンドメッシュで擦ったなと思い、購入して試すと、みるみる黒ずみが消えたのです。思わず「あつ」と声を上げました。「どうしたの」「何を使ったの?」従業員が、白く輝いたトイレを見て口々に言いました。私の掃除を続ける原点はここにあります。

適切な掃除方法による徹底した掃除は、その場を美しくします。そうすると人の心は動きます。鍵

山相談役の言う「人の心の荒みを取り除く」掃除の道のおかげで、私の心は磨かれ、人生は豊かになりました。

東京掃除に学ぶ会が毎月第3木曜に続けている「新宿・渋谷街頭清掃」は通算230回を越え、早朝にもかかわらず、遠方からたくさんのご参加があります。

そのほか、靖国神社清掃や羽田街道おもてなし清掃など、東京に住んでいたり立ち寄ったら、どこかの掃除に参加できる、どこかで仲間にあえる、そんな活動をめざしています。

掃除を通じて心が磨かれ、人生が豊かになる、そして街が美しくなる。東京がそんな場になれたらいいな、と思っています。

感動すると勇気が湧く

島根県

坂本

美喜雄



プでプールに水を注ぐような努力の積み重ねをしている」の言葉に、大きな衝撃を受けました。

2015年の「大田掃除に学ぶ会」年次大会で、鍵山先生の「凡事徹底」のお話を聞き、翌日の掃除実践ではその言葉どおりに徹底した掃除の仕方や道具の置き方を見て多くを学びました。

その日、私たちの田んぼを見学され「米作りは、実った稲が刈り取られるまで分らない」と話されました。成果をきちんと見届けるまでは安心してはいけないということだと思いました。

2016年10月5日出雲に來られ、私たちの田んぼで稲刈りされました。鍵山先生は生きることにすべてに徹底しておられます。稲刈りも腰にヨリを着けて鎌で

丁寧一株ずつ刈られ、ヨリで束（たば）つておられました。掃除と同じように何一つ無駄のない所作に感動しました。

鍵山先生は11歳からの9年間農業をされました。ハデ掛けするときのことも考えて、丁寧に束束を束っておられました。それは、稲をハデ場に掛けたときに、稲が乾燥すると途中でずりりと落ちてしまうからです。

教員だった私が田んぼを始めたのは、パートナーの美由紀さんと広島の大会で出逢って再婚し、美由紀さんが出雲で田んぼを始めたからです。誰もができないと思う「自然栽培の農業」を続けてこられたのも、掃除の会で感動し勇気ももらったからです。

掃除の会に参加し、感動することばかりでした。1996年7月13・14日、広島の大会で、鍵山秀三郎先生の「箸よく盤水を回す」のお話で、「私たちは、コッ

私の人生を変えた 鍵山掃除道

千葉真 利とし
清二せいじろう郎



「鍵山掃除道」「掃除に学ぶ会」
との出会いは、1993年5月25
日、(株)ローヤルの早朝トイレ清
掃セミナーに、日本企画(株)の幹
部と参加したことが契機です。
バブル崩壊により私たちのコ
ンピューター業界にも再編の波
が押し寄せ、悶々としているとき

でした。打開策を求め、すぎる思
いでセミナーを受け、金槌で頭を
殴られたようなショックを受け
て帰りました。

翌日からトイレ掃除でポロ儲
けしよう(少しよこしまな考え)
と始めました。紆余曲折あり、次
第に社内外へと掃除(環境整備)
が広がっていきました。自ら努力
しない怠け者は辞め、働き者だ
けが残り、3年後には本社ビルを
購入できるほど業績がみるみる
回復。これぞ天から与えられた
掃除道の賜物と感謝感激し、ま
すますの精進を誓った次第です。
それから約30年、任期満了で
役員を退任した今も、幹部との
船橋駅前の早朝清掃、社員大会
(掃除に学ぶ会)に参加して、社員
の感性教育と企業文化の創造に

寄与させていただいております。

現役のときに学んだ教え。

「意識が変われば行動が変わる、
行動が変われば習慣が変わる、
習慣が変われば人格が変わる、
人格が変われば運命が変わる、
運命が変われば人生が変わる」と
いう文言がありました。

齢74歳を迎えようとする今日、
振り返ってみるに「鍵山掃除道」
の出会いはいま大きく、私の人生を
変えた創ってきたものと自覚し
ております。

創業した会社は後輩たちが引
き継ぎ、今年には創業50周年にな
ります。鍵山掃除道により会社
は順風満帆。私は寿命尽きるま
で掃除道を通して世のため、人の
ため尽力いたします。感謝

(273 005 千葉県船橋市本町6-5-13)